

押さえておきたい！ 感染症事情



静岡市環境保健研究所

SFTS (Severe Fever with Thrombocytopenia syndrome ; 重症熱性血小板減少症候群)

(病原体) **SFTSウイルス** (2013年に国内で初報告、2021年に静岡市でも発生)

(症状) 発熱、倦怠感、消化器症状、血小板減少など
悪化すると**死亡**することも

(感染経路) 主にウイルスを持つ**マダニ**から感染
感染した動物からの報告例もあり

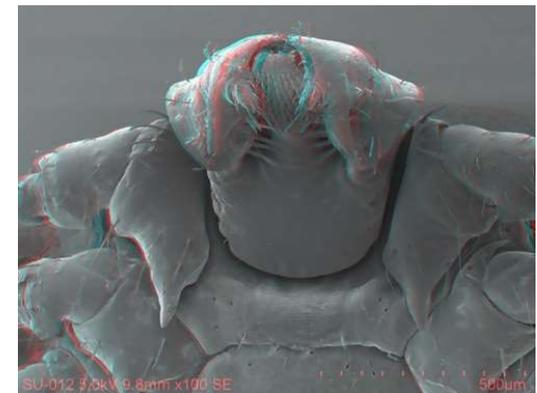
国内致死率
約30%

どうしたら
予防できるの？

(予防) **マダニに咬まれないようにする**

- ・草むらでは長袖、長ズボン、帽子
- ・虫よけ剤
- ・帰宅後は風呂場で全身チェック
- ・ペットも予防

(マダニに咬まれたら) **自分で引き抜かずに、病院へ**



フタトゲチマダニ (若虫)
出典：国立感染症研究所

ノロウイルス感染症

(病原体) ノロウイルス

(症状) 嘔吐、下痢、腹痛

(特徴) 潜伏期間 (24~48時間)、食品→人だけでなく人→人感染あり
集団感染を起こしやすい、環境中に長期間生存できる
少ないウイルス量でも感染、発症しない不顕性感染あり
アルコール消毒が効きにくい



どうしたら
予防できるの？

(予防) 手を正しく洗う

次亜塩素酸ナトリウム水溶液で消毒

汚染された食器や衣類は85℃で**1分以上加熱処理**



ヘルペスウイルス

(病原体) ヘルペスウイルス (HPV) ←人に感染するのは8種類

HPV 1・2 (症状) **水疱や潰瘍** (好発部位) 口唇や性器など
(感染経路) 経口、性行為

HPV 3 (症状) 子どもの頃に**水ぼうそう** (水痘)

大人になって再発すると**帯状疱疹**、治癒後に神経痛

(感染経路) 飛沫、空気、接触

どうしたら
予防できるの？

(ワクチン)

HPV 3のみあり

(再発予防)

ストレスをためない、免疫力を上げる

(治療)

抗ウイルス薬



エムポックス（旧称：サル痘）

（病原体） **エムポックスウイルス**（旧称：モンキーポックスウイルス）

（**2022年**に国内で初確認）

（臨床症状） 発疹、発熱、頭痛、筋肉痛

エムポックス + HIV ⇒ 重症化

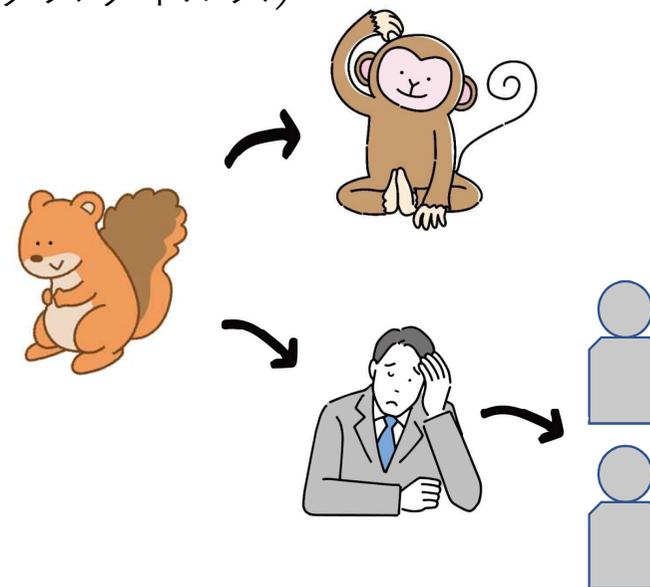
潜伏期間 1～2週間

（感染経路） 体液や病変部への接触、性的な接触、
飛沫（長時間・近距離）

（ワクチン） なし

（治療） 現時点では治療薬は無い、基本的には対症療法

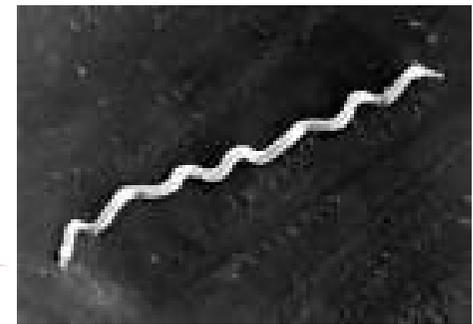
（疑わしい症状があったら） まずは電話で**病院に相談**を



梅毒

- (病原体) 梅毒トレポネーマ
- (感染経路) 主に**性的接触**
- (症状) 発疹、しこり、心疾患、神経疾患等
- (ワクチン) なし
- (治療) 抗生剤等

症状は多種多様



出典：国立感染症研究所

どうしたら
予防できるの？

- (予防) 避妊具の使用、早期発見